

研究主題

『心身ともに健やかな「いつも元気な子」の育成』 ～ 一からの体育授業や、健康・安全の取組を通して ～



ごあいさつ

本校は令和5年度・令和6年度に東京都教育委員会の体育健康教育推進校指定を受け、研究を進めてまいりました。このような機会を与えていただいたことに深く感謝いたします。

さて、体育科（中学校以降は保健体育科）という教科は「学び方を学び、生涯学習につなげる」点は他の教科と同じです。例えば「どうやったら速く走れるか。」ということに興味をもった児童が専門的に学んでいく。その礎を小学校の体育科で身に付けていくわけです。

一方、他の教科と大きく違う点は、理論ばかりではなく実技を多く伴う教科であるという点です。「体を動かす」ということ、はじめのうちは楽しく体を動かすことが大切であると言われ、動物の本能的な部分にも関係します。また、「領域によって動きが違うのでいろいろとチャレンジできる。」（例えば走るのは苦手だけど泳ぐことは得意など）ことなども特徴と言えるでしょう。

さらに、児童の自己実現や先生方の学級経営に大きく役立つ教科でもあります。「今まで跳べなかった跳び箱が跳べるようになった。」「仲間と協力してサッカーのゲームに勝てた。」この今までの自分を超えて「できた!」という瞬間は、他教科以上に自己肯定感を高められる瞬間になります。そして、「先生の言う通りに努力したらできるようになった!」と、担任と児童の信頼関係を大きく築くことができます。

他方、できたかできていないかがはっきり分かる場面も多いため、意欲的になれたり、逆に苦手意識をもったりする場合があります。

「では、どのような指導をすれば意欲的に、運動好きを育て、生涯スポーツにつなげられるのか。」皆さんも知りたいと思います。若手教員が多い割合を占める今の教育現場で、小学校の教員は多くの教科を指導するため、教材研究も効率化していく必要があります。教師も教え方の基本を学び、自分なりに工夫し、応用・発展していけるヒントを多くの先生方が求めています。

そこで、本校では体育科指導の基礎に立ち返りました。研究発表会のための研究ではなく、「できた!」という子供たちの笑顔のため、先生方の指導力向上のために3年間（指定校2年+自主校内研1年）研究してきました。その成果をどうぞ御覧ください。そして、八王子市や東京都における体育科の指導力向上に少しでもお役に立てたら幸いです。

あとがき

副校長 足立 顕史

本校は『心身ともに健やかな「いつも元気な子」の育成 ～ 一からの体育授業や、健康・安全の取組を通して ～』を研究主題として、令和5年度・6年度と研究を進めてきました。その中で、どのようにすれば教員の指導力が向上し、子供たちが楽しく運動に取り組むことができるか、何度も話し合いを重ねてきました。また、講師の先生方にも多岐にわたり御指導をいただきました。その2年間の研究の積み重ねとしての成果と課題が、以下のようになりました。

成果

- ・「一からの体育授業」をつくっていくために実技研修会やOJTを行い、若手教員や体育の指導が苦手な教員の授業力向上を図ることができた。
- ・保健給食委員会の手洗い週間やお箸週間、体育委員会のスポーツイベント等の活動を通して、児童の健康に対する意識が高まったり、運動に取り組む意欲が高まったりした。

課題

- ・各学年やブロックでの研究は深まったが、学校全体で教科内の領域を絞らなかったため、系統性を追究することができなかった。
- ・校庭や体育館などに遊びたくなるような教材を設置したり、遊びの幅を広げるために集会等で教えたりして、児童が運動に親しむ機会をさらに増やす働き掛けをする必要がある。

結びに、本校の研究に中心となって指導して下さった昭島市立光華小学校長の眞砂野 裕 先生、このような機会を与えて下さった東京都や八王子市の教育委員会の先生方、研究を支えて下さった保護者・地域の皆様はじめ本校の研究に携わって下さったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

前



指導案や資料集等
アップされています。
御活用ください。



成果報告会の
アンケートです。
御協力をお願いします。